

天領という名の由来

倉敷はその昔、江戸幕府直轄の支配地「天領」で、全国 60 の代官所の中でも 3 番目の大天領で、備中一円から讃岐路までの行政と司法を司っていたそうです。

「代官ばやし」の歌詞にも「倉敷代官にらみをきかしゃ、池田の殿様べそをかく。おらが代官百姓の味方、阿知の干潟に黄金咲く。天領商人見上げた気っ腑、代官悪けりゃつまみ出す」とあるとおり、住民と代官との関係は良好で、倉敷発展の礎を築いてきました。

住民はこの「天領」を誇りとしており、今も「倉敷天領夏祭り」をはじめとして、倉敷をあらわす代名詞として使われています。

倉敷天領夏祭り実行委員会